

令和 7 年 4 月

令和6年度湯来地域における小中一貫教育校開校準備会議
第2回教育活動・学校生活部会 発言要旨

説明1：湯来地域における小中一貫教育校開校準備会議等のこれまでの意見について
説明2：地域と学校との協議（コミュニティ・スクールを活用した事例）について
協議1：「湯来らしさ」を生かした教育活動について（グループ協議・全体共有）

○：地域関係者、●：教育委員会等及び学校関係者

開会挨拶

● 長屋指導第二課長

本日の部会では、これまでの小中一貫教育校の設置に係る検討会議、前回の第1回部会に出てきた意見等をもとに、「地域への愛着・誇りを育むこと」をテーマとして、地域資源を生かした特色ある教育として、「湯来らしさ」を生かした教育活動について、協議を深めていきたいと考えている。

まず、事務局からレジュメに沿って、「地域と学校との協働（コミュニティ・スクールを活用した事例）」において、事務局から参考となる学校の取組を紹介した後に、より多くの方のご意見をいただきたく、グループ協議の形で進めてまいりたいと考えている。グループ協議の際には、「湯来地域全体のことを考える」、「現在だけでなく将来の子どもたちの教育環境を考える」、「地域コミュニティの核としての機能について考える」、「前向きな議論をする」の4点について留意しながら有意義な議論を進めていきたいと考えており、御協力をお願いしたい。

説明1

● 伊木指導主事（指導第二課）

資料1、資料2についてスライド資料に沿って説明

説明2

● 石中指導主事（指導第一課）

資料3に沿って説明

グループ協議

【各グループから出た意見等】

	施設等	人材	資源等
砂谷中学校区周辺	久保アグリファーム マルニ木工	はつかいちサンプレイズ 〇〇氏	牛乳 ジェラート

湯来中学校 校区周辺	湯来ロッジ 湯来釣り堀 湯来閲覧室 クアハウス サンピア湯来 交流体験センター シャワークライミング よっちゃん菜	水内川漁協の方々 山菜名人の方々 〇〇氏 〇〇氏 〇〇氏	こんにゃく作り オオサンショウウオ 川魚（鮎） 巻き柿 カヤック サウナ 神楽団 各地域に残されている行事
---------------	--	--	--

閉会挨拶

● 高田指導第一課長

令和7年、8年で学習の計画を立てていき、令和9年から令和11年にかけて、計画に沿って授業をしてみることが必要になると思う。今年度より、湯来中学校と湯来東小学校となり、砂谷中学校と湯来南小学校も1小1中の中学校区であるという状態である。来年度は、湯来南小学校と砂谷中学校も「小中連携」という言葉を使って、教育委員会の指定校という形で取組を進めてもらうようになっており、本日のお話がそういった取組のもととなると考えている。

今回出していただいた多くのご意見を集約していきながら、9つの「地域にまつわる学習活動」を作り上げ、それを小学1年生から中学3年生までの9年間を通して行うためには、連続性、ストーリー性が欲しいと考える。本日、皆様の話を伺っていると湯来は広く、地域ごとに様々な特色があることが分かった。例えば、小学1年生から中学2年生の間で、まんべんなく湯来の様々な地域の学びができるようにし、中学校3年生の最後で、湯来の町全体の事を考えるような学習活動を組むことも考えられる。その際に、プロである学校の教員と教育委員会が連携を図りながら、地域の思いをエッセンスとして入れていくような作業を進めていくのが、先程もお伝えしましたが2年間となっており、時間があるようでない状態である。

本日お話をいただいた内容をベースに、教育活動に落とし込むためには、大人と子どもの課題をミックスしながら、地域が課題が抱えている課題を子どもに共有し、学習課題として持たせることが1番のポイントになると考えている。引き続き、地域の方々の思いと教育課程を管理する校長先生の間で、上手く話を進めていきたいと考えており、今後も御協力をお願いしたい。

（以上）